



第3回

2024年12月17日(火)
18:30 ~ 21:00 @おにクル4階

令和6年度から7年度にかけて、茨木市としての共創の方向性を定めていきます。市民の皆さん、市内に数多くある事業者、大学の皆さんと一緒にアイデアを出し合い、共創を小さく実現してみようというものです。3回目は、これまでチームごとに進めてきた調査や取り組みについて発表し、2月に行うお試しの企画を考えました。



1 開会の挨拶（共創推進課 山脇より）

市には10年間のまちづくりの方向性を示す総合計画というものがあり、茨木市は2025年4月から新しい計画となります。総合計画では福祉、産業など様々なジャンルについて示されていますが、茨木のまちづくりについて、次の10年間のキーワードは「共創」です。これからのまちづく

りは、様々な分野がつながることによって新たな価値や関係性を生み出すことが求められており、「共創」の考え方はとても重要になっています。この茨木共創部の取り組みも踏まえて、これから茨木らしい「共創」とは何かについて方向性を示していきたいと考えています。

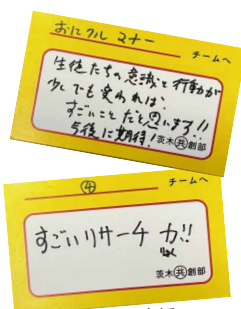
2 各チームの自主会の開催状況

全体会以外に、4つのチームがそれぞれ自主的に集まって企画について話し合ったり、市役所の担当課や商店街、飲食店などにヒアリングに行ったりと、考えたアイデアを試しにやってみる機会を設けました。それらをまとめて茨木共創部第2回としており、今回（第3回）の発表会に向けて、それぞれのチームで話し合いを重ね、準備を進めてきました。



3 発表準備

発表の順番はくじ引きで決めました。くじを引いた瞬間は大きな歓声！そして、他チームの発表を聞きながら、良かったことやアドバイス、チームを越えて協力できそうなことを書いた応援カードを送り合いました。



応援カード

くじ引き



テーマ② 名物づくりチーム

「とりのすき焼き」についてヒアリングと文献調査をしました。祭りや集まりで食べられ、60歳代以上には馴染みがある一方で若い世代には知られていません。昔は捌いて全ての部位を使っていました。今後は「茨木版とりすき」を目指して試作をし、人の輪を「とり」戻すツールとして広めていきたいです。



応援カードの内容

- ・とりすき食べたい！！
- ・とりすきの歴史～長期目標まで、素晴らしい！
- ・人とのつながりがテーマになっているのがステキです
- ・食ロスチームのお酒を！

テーマ④ おにクルチーム

みんなが気持ちよく使えるおにクルを目指して、現状調査としてアンケートをとりました。学生の自習によって机が埋まり、図書館やカフェで机を使いたい利用者が困っていること、その現状に学生が気づけていないことがわかりました。譲り合いを促すメッセージの発信や啓発動画、簡易機の貸出などを検討しています。



応援カードの内容

- ・データの見せ方が面白い
- ・みんなが気持ちよく使えるように促すのが良い
- ・受験生を応援するアイデアが素敵！
- ・機の貸し出しがいい！

テーマ① 食品ロスチーム

廃棄される食材や酒を活用し、そうめんや鍋をつくる実験をしたり、酒を使って染物も試作。そうめんや鍋はおいしく、染め物もきれいに色がでました。資源循環課やみくりや青果、商店街を訪問し、食品ロスの状況や削減のための工夫を調査しました。食品廃棄のことを家族で学べるイベントを予定しています。



応援カードの内容

- ・チームワークが良かった
- ・食品ロスを減らしつつ、おいしいものを提供！
- ・視察に複数行っていて説得力があった
- ・部活動が楽しそう！

テーマ③ 防災チーム

ローリングストックとハザードマップに注目しました。家のストック食品を日常的に食べて、足して（ローリング）備えることで、家族の好みや食べやすい食品を備えることができると知りました。ハザードマップは活用の難しさを感じ、市担当課からレクチャーを受けました。1/9にプレワークショップを開催する予定です。



応援カードの内容

- ・勉強になることがたくさん！
- ・自分事に置き換えて考えることのできるテーマ
- ・一市民として考えさせられる
- ・マイタイムライン作りが楽しそう

5 小さくお試しに向けて

2月のお試し企画に向けて話し合いました。名物チームは地域で食材を集め、とりすきの試食会を。おにクルチームは受験勉強中の学生へのメッセージの募集と展示、サイネージを用いたマナー啓発を検討します。食品ロスチームは、子ども向けの染色と食品ロスを学べるイベント。防災チームはローリングストックの展示、ハザードマップを活用したワークショップを実施することになりました。

